

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 田邊 幹浩	
総務-19	公共用地先行取得事業（特別会計）	☒ 自治事務	主管課	公的不動産活用課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(2) 行財政運営	施策の方針	0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	公共用地先行取得等事業債で購入する用地
意図	事業実施に必要な公共用地を先行取得するため。
効果	旧鈴木邸、旧今井邸約5,200平方メートルを取得（平成22年度）／都市計画道路腰越大船線用地895平方メートルを取得（平成24年度）名越クリーンセンター整備事業用地約490平方メートルを取得（平成26年度）／笛田リサイクルセンター周辺整備事業用地約738平方メートルを取得（平成27年度）市街地整備事業用地約815平方メートルを取得（平成29年度）

2 令和5年（2023年）度に実施した事業の概要

鎌倉市土地開発公社が先行取得した用地の再取得に要した市債の元利償還を行った。
--

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業（主な経費等）	指標（単位）	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）	
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）	
01	—	元金償還金	—	/			
				188110 / 188110		199,478	
02	—	支払利子	—	/			
				1643 / 2890		1,855	
03	公共用地先行取得事業	—	—	/			
				/		89,467	
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	189753 / 191000		290,800	
		事業費の合計（千円）		189,753 / 191,000		290,800	
		人件費（千円）				3,038	2,338

4 この事業に関わる職員数（毎年度4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	—	指標設定に馴染まないため。	—	—
02	—	指標設定に馴染まないため。	—	—
03	公共用地先行取得事業	指標設定に馴染まないため。	—	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
 今後も適切な市債の元利償還事務等を行っていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由		年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由		年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方